

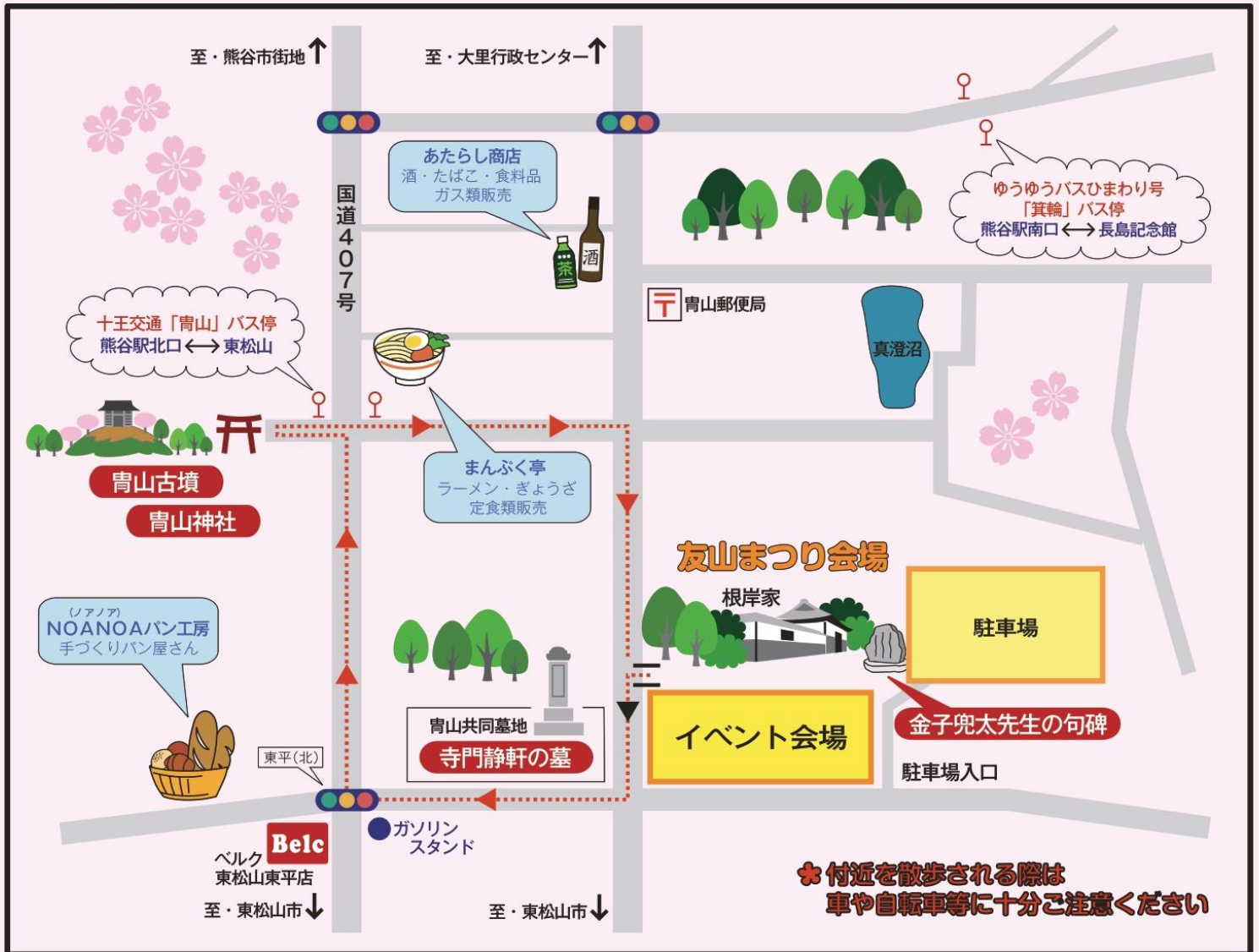


# 根岸家周辺



～おおさとまつり実行委員会作成～

# ちょこっとお散歩マップ



＊ 付近を散歩される際は 車や自転車等に十分ご注意ください

## 恐竜スタンプラリー参加券

<p>プテラノドン</p>	<p>ティラノザウルス</p>	<p>トリケラトプス</p>
---------------	-----------------	----------------

### 根岸友山(ねぎしゆうざん)とは

幕末に勤王の志士として活躍した根岸友山は、文化6年(1809年)、大里郡青山村(現・熊谷市青山)で生まれました。友山は若くから文武に優れ、自宅に道場や私塾(三余堂)を開き、村の子弟達の育成に努めました。また、洪水のたびに大きな被害を受けていた青山の田畑を守るため、荒川の改修工事や堤防工事にも尽力しました。後に友山は長州藩と深く関わり、次第に尊王攘夷思想へと傾いていきます。浪士隊(後の新撰組)に入り近藤勇らと行動を共にしますが思想的に対立、根岸家は江戸近在の尊攘派の活動の場となりました。晩年、尊王倒幕を擁護した「吐血論」を著述、明治23年に82才で没した友山は生涯、正義を重んじた憂国の志士でありました。

